

スクリーンインキ

添加剤

その他インキ用

添加剤用途 硬化性促進 接着性向上 物性向上 | 蒸発乾燥型 二液反応型

JA-950 硬化剤

二液反応型インキの硬化剤、蒸発乾燥型インキの接着性、塗膜物性向上剤です。

製品の特長

- ポリイソシアネート樹脂・遅硬化・無黄変タイプ・耐候性良好で、日光により黄変することがありません。
- 硬化が遅いタイプの硬化剤です。
- 無黄変タイプのため、印刷物を屋外に出しても問題ありません。
- JA-960よりも反応性が低く、可使時間が長くなります。
- JA-960よりも可撓性、接着性の良い皮膜を形成します。
- バリエーションとして、高粘度タイプのJA-950H、柔軟性の良好なJA-940があります。

特性

可撓性

硬化性

接着性

スペック

荷姿	性状
1kg金属缶	粘液
100g金属缶	

使用方法

- 各インキのインフォメーションを参照し、確認試験を行ってから使用して下さい。
- 指定の希釈溶剤を加え、良く攪拌してから印刷します。
- 添加量はインキ100部に対して5～15部（標準添加量10部）です。
- 可使時間は次の通りです。
 - 8時間以内（20℃）
 - 4～8時間（25℃）

硬化方法・硬化条件

- なるべく加熱硬化を行って下さい。硬化温度が高いほど皮膜物性は向上します。
- 標準硬化時間は次の通りです。
 - 25℃：5～7日
 - 80℃：120分
 - 100℃：60分
 - 120℃：30分
- 短時間でインキを硬化させたい時は、硬化促進剤JA-E11をインキと硬化剤の混合物に対し1～2%加えて下さい。これにより硬化時間は、2/3～1/2に短縮できます（ただし可使時間も短くなります）。

注意事項

- 硬化剤は湿気により単独でも硬化します。開封後は、その日の内に使い切るようにして下さい。
硬化剤の使用期限の目安は「製造後1年」とさせていただいていますが、これは未開封の場合です。
- 可使時間を過ぎてもしばらくは、インキは流動性があり印刷する事が可能です。
しかし、硬化皮膜の物性や光沢は低下していますので、可使時間を過ぎたインキの使用は避けて下さい。
- ご使用に際しての安全上の注意事項に関しては、製品の安全データシート（SDS）をご参照下さい。
- 当インフォメーションに記載されている内容は予告無しに変更・改訂する場合があります。
- この特性データは、弊社の実施した評価結果に基づくもので、お客さまのご使用時の製品特性を保証するものではありません。
- 使用の際は、実際に使用される装置及び被着材での評価結果に基づき、条件を十分ご検討の上、ご使用下さい。